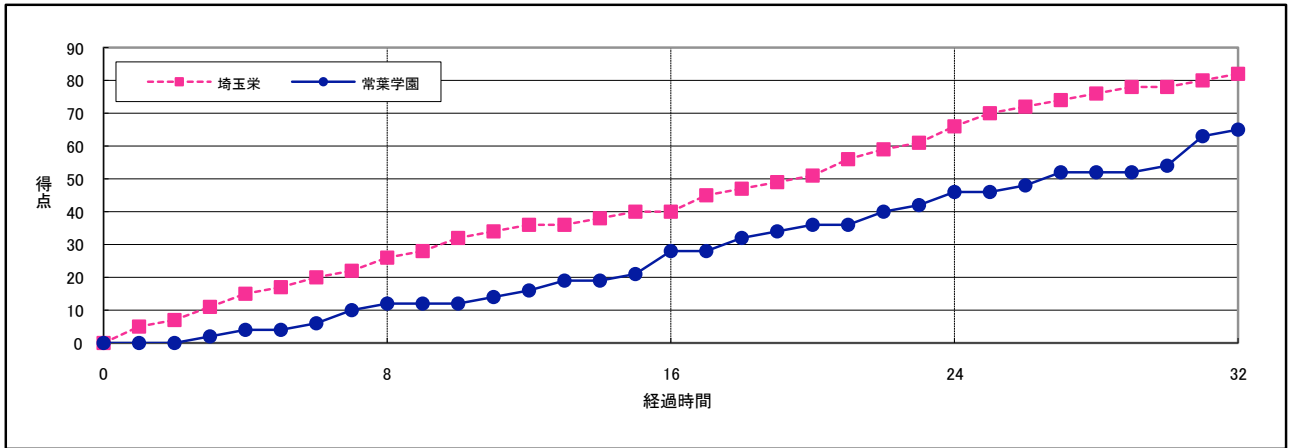


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	2日目 女子 Eコート第6試合 決勝トーナメント2回戦						
日時	8月21日(金) 16:10 ~						
会場	サンアリーナせんだい						
結果	埼玉栄	82	○	}	65	●	常葉学園
	埼玉						静岡
審判	主審 久米 克弥		副審 井口 愛				



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手

埼玉栄							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	小林杏理	×	4	0	2	0	4
5	ナウタヴァイ圭理	×	20	0	9	2	0
6	柿沼かすみ	×	21	0	10	1	1
7	萱沼史織	×	20	0	9	2	1
8	川崎 菜	×	9	1	3	0	3
9	串田愛美	/	0	0	0	0	0
10	村上菜緒	/	0	0	0	0	0
11	板橋未歩	/	6	0	3	0	0
12	藤野希生	/	2	0	1	0	1
13	新井李音乃	/	0	0	0	0	0
14	柿沼あゆみ	/	0	0	0	0	0
15	清水美穂	/					
16	ナウタヴァイ絵美理	×	0	0	0	0	1
17	小林萌香	/					
18	古井愛	/					
監	一ノ瀬和之	/					
C	江上勝幸	/					
合計			82	1	37	5	11

空欄=出場なし

常葉学園							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	溝口美樹	×	20	1	8	1	1
5	石川優季美	×	17	1	7	0	4
6	北川佳穂	×	17	0	6	5	1
7	豊島由紀	/	0	0	0	0	1
8	川端美紀	/					
9	木嶋成美	/					
10	根本葉瑠乃	×	6	0	3	0	5
11	造酒綾香	×	5	1	1	0	0
12	西澤瑛梨	/					
13	田中愛純	/					
14	平尾早希	/					
15	渡辺尚佳	/					
16	稲葉さつき	/					
17	稲葉さくら	/					
18	渡邊桃子	/					
監	小前宏史	/					
C	佐野恵子	/					
合計			65	3	25	6	12

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート F T = フリースロー

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。埼玉栄は開始早々#7の連続ポイントで先制、幸先の良いスタートを切る。一方、常葉学園はなかなかボールが手につかず苦戦。開始3分#10のカットインで得点を上げる。埼玉栄の厳しいディフェンスを攻めあぐむ中、常葉学園#4、#6が再三シュートを狙うが得点できない。一方、埼玉栄は素早い切り替えしの速攻、インサイド#5、#7を基点に巧みな攻めを見せる。残り2分30秒、常葉学園はたまたまタイムアウトを取る。タイムアウト後、常葉学園はディフェンスをハーフコートマンツーマンから、オールコートの1-2-2ゾーンプレスに切り替え埼玉栄にプレッシャーをかけるも、埼玉栄のスピードと高さ止められず、1P終了間際埼玉栄#6に決められ、常葉学園12-26埼玉栄で終了。

第2P、開始から常葉学園は積極的な攻めを見せるが、埼玉栄#8に速攻をきめられてしまう。常葉学園はディフェンスでも厳しくしかけるも中々ペースをつかめない。埼玉栄は#6のスティールで加点、巧みなディフェンスも厳しさを増し流れをどんどん引き込もうとする。しかし、常葉学園も#11の3Pシュートで応戦する。タイムアウト後、常葉学園はディフェンスを1-2-1-1のゾーンプレスに変え、埼玉栄の勢いを止めようとする。次第に常葉学園のシュートタッチが良くなり、#4の3Pシュート、ジャンプシュートで連続得点を上げ、常葉学園28-40埼玉栄で前半を終了する。

第3P、後半埼玉栄ボールからのスタート。前半同様に、常葉学園は1-2-1-1のオールコートゾーンプレス、埼玉栄はハーフコートマンツーマン。埼玉栄の#7のインサイドシュートで先制。常葉学園も#5の連続カットインシュートで応戦する。しかし、埼玉栄も#6のカットインで入れ返す。お互い一步も引かない。互いにディフェンスを厳しくし、埼玉栄のファウルがかさんでしまうが、確実に加点し常葉学園を突き放そうとする。しかし常葉学園も#4がカットインシュートを決め、残り1分30秒埼玉栄はディフェンスを2-2-1のオールコートゾーンプレスに変え、流れをつかもうとする。結局、埼玉栄66-46常葉学園で終了する。

第4P、何とか流れを止めたい常葉学園。#11がシュートを狙うも得点できず、逆に埼玉栄#7#11にシュートを連続で決められてしまう。常葉学園は厳しいディフェンスから#6がスティール、#5にパスをつないで得点する。しかし、埼玉栄の得点を止められない。常葉学園は再三シュートを狙うがネットを揺らすことが出来ない。残り1分30秒、常葉学園#5が執念の3Pシュートを決めるもここまで。常葉学園65-82埼玉栄で試合終了。